

6. 研究報告抄録

瀬戸臨海実験所研究報告 (Publications of the Seto Marine Biological Laboratory) 第35巻第4/5合併号が、1992年3月31日に発行された。掲載論文6篇、総頁数は66頁。

第35巻第4/5号 (1992年3月)

論文 6. Grygier, M. J. Laboratory rearing of ascothoracid nauplii (Crustacea: Maxillopoda) from plankton at Okinawa, Japan. [Mark J. Grygier. 沖縄のプランクトンから得られたキンチャクムシ類(甲殻類: アゴアシ類)のノープリウスの実験室飼育]. 田辺湾産 *Baccalaureus falsiramus* に類似する沖縄県瀬底島産ノープリウス幼生II-VI期と ascothoracid 幼生を記載した。これらの幼生はプランクトン中から採集するとともに飼育によっても得た。個体発生の新知見をもとに、いくつかの体部位について、キンチャクムシ類とハンセンオカリス類の相同性を論じた。(235-251頁)

論文 7. Tanaka, O. & Omori, M. Additional report on calanoid copepods from the Izu region. Part 6. Phaennidae. [田中於菟彦・大森信. 伊豆海域のカラヌス類の追加報告, その6]. 以前の報告に続く第6報では, Phaennidae に属する以下の6属13種を記載した: *Cephalophanes refulgens*, *C. tectus*, *Cornucalanus chelififer*, *C. indicus*, *Onchocalanus affinis*, *O. cristatus*, *O. hirtipes*, *O. trigonoceps*, *Phaenna spinifera*, *Xanthocalanus greeni*, *X. maximus*, *X. pinguis*, *X. serratus*. (253-271頁)

論文 8. Kearns, G. C. Mating in the capsalid monogenean *Benedenia seriolae*, a skin parasite of the yellowtail, *Seriola quinqueradiata*, in Japan. [Graham C. Kearns. プリに皮膚寄生する単生吸虫 *Benedenia seriolae* の交尾]. *Benedenia seriolae* を用いて, この属では初めて交尾を観察した。これを近縁の *Entobdella soleae* と比較すると, 交尾は短時間で, 雌雄同体の成虫は, お互いに vagina の広い前庭に penis を挿入し, 交尾中体外に精包を付着させあうことはなかった。交尾を終えた *B. seriolae* は, はなれて数分以内でも再交尾をすることがみられた。また, *B. seriolae* の生殖器官系を再記載した。(273-280頁)

論文 9. Yamato, S. A new species of *Podocerus* (Amphipoda: Podoceridae) from the carapace of a loggerhead sea turtle in Japan. [大和茂之. アカウミガメの背甲より採集されたドロノミ属の一新種]. 白浜産アカウミガメの背甲から採集したヨコエビを, 新種 *Podocerus umigame* (ウミガメドロノミ) として記載した。この種は, 東大西洋および地中海産の2既知種によく類似するが, 尾節の毛の数, 第1・2尾肢内肢の刺の配列, 第2咬脚の歯状突起などで区別される。(281-288頁)

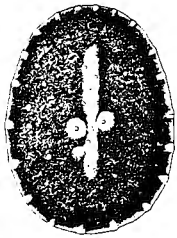
論文 10. Nakabo, T., Ikeda, H. & Araga, C. The female of a rare dragonet (Teleostei: Callionymidae) from Japan with comments on its synonymy. [中坊徹次・池田博美・荒賀忠一. 日本産稀少ネズッポ(真骨類, ネズッポ科)の雌の記載とシノニムに

ついて)。タツヌメリ *Spinicapitichthys draconis* の雌を初めて記載した。その特徴は、眼の後部背面上にある1対の糸状突起、後頭部の1対の小骨質突起、内側に4個・外側に5個の鋸歯をもつ前鰓蓋骨棘、第1背鰭の第3鰭膜にある黒色大型眼状斑である。また、*Callionymus (Spinicapitichthys) csiro* Fricke を本種の新参シノニムとした。(289-293頁)

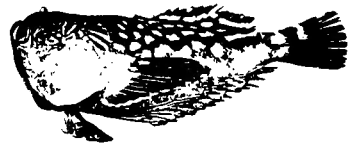
論文 11. Ohtsuka, S. Calanoid copepods collected from the near-bottom in Tanabe Bay on the Pacific coast of the middle Honshu, Japan. IV.

Pseudocyclopiidae. (大塚攻。中部本州太平洋岸、田辺湾の近底層に産するカラヌス目, IV)。カラヌス目 Pseudocyclopiidae に属する浅海性の一新種 *Pseudocyclopia muranoi* を記載した。この属のインド-西太平洋からの記録は初めてである。この種は、長い第1触角、多数の鱗を有する尾部、雌雄ともに特徴的な第4・5付属肢の構造で既知種から区別される。遊泳行動や胃内容物についても記載した。(295-301頁)

(編集委員会)



ヒメアワモチ
Oncidiella kurodai Iw. Taki



サツオミシマ
Ichthyscopus lebeck sannio Whitley